

# CLIによるスイッチ上のコンフィギュレーションファイルの更新

## 目的

Cisco Small Businessスイッチには、スイッチの設定と動作を決定する設定および管理ファイルがいくつか含まれています。これらのファイルは、スイッチのWebベースユーティリティのFile Operationsページで操作できます。このページでは、コンフィギュレーションファイルのバックアップ、アップグレード、またはコピーを行うことができます。ファイルは、接続されたUSBデバイス、スイッチの内部フラッシュ、またはTrivial File Transfer Protocol ( TFTP ; トリビアルファイル転送プロトコル ) サーバやSecure Copy ( SCP ; セキュアコピー ) サーバ間で移動できます。これらのファイルを複数の場所に保存すると、デバイスを以前の状態にロールバックする場合や、デバイスに障害が発生した場合に役立ちます。この文書では、次のいずれかの方法でシステム設定ファイルをアップデートする方法について説明します。

- USBまたは内部フラッシュ : 内部フラッシュメモリまたはスイッチ上の接続されたUSBデバイスからソースファイルを選択します。
- TFTP:TFTPサーバからスイッチにソースファイルをアップロードします。
- SCP ( SSH経由のファイル転送 ) :SCPサーバからスイッチにソースファイルをアップロードします。

## 適用可能なデバイス | [Software Version]

- Sx350 シリーズ | 2.3.0.130
- SG350X シリーズ | 2.3.0.130

## 構成ファイルの更新

ステップ 1 : スイッチコンソールにログインします。デフォルトのユーザー名とパスワードは、cisco/cisco です。新しいユーザー名またはパスワードを設定している場合は、代わりにそのログイン情報を入力します。

SSHまたはTelnetを使用してSMBスイッチのCLIにアクセスする方法については、 [ここ](#) をクリックしてください。

コマンドは、デバイスのモデルによって異なる場合があります。この例では、SG350X-48MPスイッチにTelnetでアクセスします。

ステップ 2 : コンフィギュレーションファイルを特定の宛先にバックアップするには、次のよう

に入力します。

```
CBS350X#copy [src-url] [running-config | startup-config]
```

パラメータは、次のとおりです。

- running-config : 現在の設定が含まれているコンフィギュレーションファイル。最後のリブート以降に管理セッションに適用された変更も含まれています。
- startup-config : フラッシュメモリに保存されるコンフィギュレーションファイル。
- src-url : コピーされるソースファイルまたはディレクトリのURL。事前定義されたURLエイリアスを設定できます。
  - tftp:// : ダウンロード元のTFTPネットワークサーバ上のファイルのソースURL(tftp://ip-address/filename)。
  - scp:// : SSHクライアントを使用してダウンロードするSCPサーバ上のファイルのソースURL(scp://[username:password@]host/filename)。SCP方式に進む前に、SSHサーバ認証が有効になっており、対応する設定が設定済みであることを確認してください。CLIを使用してスイッチにSSH認証設定を設定する方法については、[ここをクリックしてください](#)。
  - usb:// : usb://directory/filenameの形式を使用して、USBデバイスの絶対ファイルパスからコピーします。
  - flash:// : フラッシュメモリ上の絶対ファイルパスから、flash://directory/filenameの形式を使用してコピーします。
- exclude : コピーするファイルに機密データは含まれません。
- include-encrypted : ファイルには、機密データが暗号化された形式で含まれています。セキュアオプションが設定されていない場合、このセキュアオプションはデフォルトで適用されます。
- include-plaintext : 機密データをプレーンテキスト形式でファイルに含めます。

ガイドライン :

- copy src-url running-configコマンドを使用して、TFTPやSCPなどのネットワークサーバに保存されているファイルから現在のコンフィギュレーションファイルを更新します。
- copy src-url startup-configコマンドを使用して、ネットワークサーバに保存されているファイルからスタートアップコンフィギュレーションファイルを更新します。

TFTP :

```
SG350X#copy tftp://192.168.100.139/running-350.txt running-config
26-Oct-2017 05:17:19 %COPY-I-FILECOPY: Files copy - source URL tftp://192.168.100.139/
running-350.txt destination URL running-config
26-Oct-2017 05:17:19 %LINK-I-Up: Vlan 10
26-Oct-2017 05:17:19 %LINK-I-Up: Vlan 20
26-Oct-2017 05:17:19 %LINK-I-Up: Vlan 40
26-Oct-2017 05:17:19 %LINK-I-Up: Vlan 50
26-Oct-2017 05:17:19 %LINK-I-Up: Vlan 60
26-Oct-2017 05:17:19 %LINK-W-Down: Vlan 10
26-Oct-2017 05:17:19 %LINK-W-Down: Vlan 20
26-Oct-2017 05:17:19 %LINK-W-Down: Vlan 50
26-Oct-2017 05:17:19 %LINK-W-Down: Vlan 60
26-Oct-2017 05:17:19 %LINK-I-Up: Vlan 10
26-Oct-2017 05:17:19 %LINK-I-Up: Vlan 20
26-Oct-2017 05:17:19 %LINK-I-Up: Vlan 50
26-Oct-2017 05:17:19 %LINK-I-Up: Vlan 60
26-Oct-2017 05:17:19 %BOOTP_DHCP_CL-I-DHCPRENEWED: The device has been renewed the co
nfiguration on interface Vlan 1 , IP 192.168.100.112, mask 255.255.255.0, DHCP server
192.168.100.1
26-Oct-2017 05:17:20 %LINK-W-Down: Vlan 10
26-Oct-2017 05:17:20 %LINK-W-Down: Vlan 20
26-Oct-2017 05:17:20 %LINK-W-Down: Vlan 50
26-Oct-2017 05:17:20 %LINK-W-Down: Vlan 60
26-Oct-2017 05:17:21 %COPY-N-TRAP: The copy operation was completed successfully
26-Oct-2017 05:17:21 %LINK-W-Down: Vlan 40
26-Oct-2017 05:17:21 %BOOTP_DHCP_CL-I-DHCPRENEWED: The device has been renewed the co
nfiguration on interface Vlan 1 , IP 192.168.100.112, mask 255.255.255.0, DHCP server
192.168.100.1

11504 bytes copied in 00:00:01 [hh:mm:ss]

SG350X#
```

この例では、実行コンフィギュレーションファイルは、IPアドレスが192.168.100.139のTFTPサーバにあるコンフィギュレーションファイルを使用して更新されます。

SCP :

```
SG350) #scp://cisco:cisco12345@192.168.100.139/running-350.txt running-config
26-Oct-2017 02:23:25 %COPY-I-FILECOPY: Files Copy - source URL scp://cisco:cisco12345@
192.168.100.139/running-350.txt destination URL running-config
26-Oct-2017 02:23:29 %LINK-I-Up: Vlan 10
26-Oct-2017 02:23:29 %LINK-I-Up: Vlan 20
26-Oct-2017 02:23:29 %LINK-I-Up: Vlan 40
26-Oct-2017 02:23:29 %LINK-I-Up: Vlan 50
26-Oct-2017 02:23:29 %LINK-I-Up: Vlan 60
26-Oct-2017 02:23:29 %LINK-W-Down: Vlan 10
26-Oct-2017 02:23:29 %LINK-W-Down: Vlan 20
26-Oct-2017 02:23:29 %LINK-W-Down: Vlan 50
26-Oct-2017 02:23:29 %LINK-W-Down: Vlan 60
26-Oct-2017 02:23:30 %BOOTP_DHCP_CL-I-DHCPRENEWED: The device has been renewed the co
nfiguration on interface Vlan 1 , IP 192.168.100.112, mask 255.255.255.0, DHCP server
192.168.100.1
26-Oct-2017 02:23:30 %COPY-N-TRAP: The copy operation was completed successfully

11504 bytes copied in 00:00:05 [hh:mm:ss]

SG350X#26-Oct-2017 02:23:30 %LINK-W-Down: Vlan 40
26-Oct-2017 02:23:30 %BOOTP_DHCP_CL-I-DHCPRENEWED: The device has been renewed the co
nfiguration on interface Vlan 1 , IP 192.168.100.112, mask 255.255.255.0, DHCP server
192.168.100.1

SG350X#
```

この例では、実行コンフィギュレーションが、SCPサーバにIPアドレス192.168.100.139で保存されたコンフィギュレーションファイルに置き換えられています。このサーバでは、ユーザ名およびパスワードとしてそれぞれクレデンシャルciscoおよびcisco12345が使用されています。

USBまたはフラッシュ :



```

SG350X#copy usb://running-350.txt running-config
26-Oct-2017 05:29:08 %COPY-I-FILECPY: Files Copy - source URL usb://running-350.txt
destination URL running-config
26-Oct-2017 05:29:08 %LINK-I-Up: Vlan 10
26-Oct-2017 05:29:08 %LINK-I-Up: Vlan 20
26-Oct-2017 05:29:08 %LINK-I-Up: Vlan 40
26-Oct-2017 05:29:08 %LINK-I-Up: Vlan 50
26-Oct-2017 05:29:08 %LINK-I-Up: Vlan 60
26-Oct-2017 05:29:08 %LINK-W-Down: Vlan 10
26-Oct-2017 05:29:08 %LINK-W-Down: Vlan 20
26-Oct-2017 05:29:08 %LINK-W-Down: Vlan 50
26-Oct-2017 05:29:08 %LINK-W-Down: Vlan 60
26-Oct-2017 05:29:09 %BOOTP_DHCP_CL-I-DHCPRENEWED: The device has been renewed the
configuration on interface Vlan 1 , IP 192.168.100.112, mask 255.255.255.0, DHCP se
rver 192.168.100.1
26-Oct-2017 05:29:09 %COPY-N-TRAP: The copy operation was completed successfully

11504 bytes copied in 00:00:01 [hh:mm:ss]

SG350X#26-Oct-2017 05:29:09 %LINK-W-Down: Vlan 40
26-Oct-2017 05:29:09 %BOOTP_DHCP_CL-I-DHCPRENEWED: The device has been renewed the
configuration on interface Vlan 1 , IP 192.168.100.112, mask 255.255.255.0, DHCP se
rver 192.168.100.1

SG350X#

```

この例では、実行コンフィギュレーションが、スイッチのUSBポートに接続されているUSBデバイスに保存されているコンフィギュレーションファイルに置き換えられています。

ステップ3: ( オプション ) 実行コンフィギュレーションファイルをスタートアップコンフィギュレーションファイルにコピーするには、次のように入力します。

```

SG350X#copy running-config startup-config
Overwrite file [startup-config]... (Y/N)[N] ?

```

ステップ 4: ( 任意 ) [ファイル [startup-config] の上書き... ( Overwrite file [startup-config]... ) ] プロンプトが表示されたら、「はい」の場合はキーボードの [Y]、「いいえ」の場合は [N] を押します。この例では、Y を押します。

```

SG350X#copy running-config startup-config
Overwrite file [startup-config]... (Y/N)[N] ?Y
26-Oct-2017 05:48:17 %COPY-I-FILECPY: Files Copy - source URL running-config destin
ation URL flash://system/configuration/startup-config
26-Oct-2017 05:48:20 %COPY-N-TRAP: The copy operation was completed successfully

SG350X#

```

## 結論

これで、ネットワークサーバから保存されたファイルを使用して、CLIを介してスイッチのコンフィギュレーションファイルが正常に更新されました。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。